

甲府一高あおぞら会 年報 2017

AOZORA

2018年2月18日発行(年1回発行) vol.3

〒252-0233 神奈川県相模原市中央区鹿沼台1-7-7

おくちこどもクリニック内 甲府一高あおぞら会

ホームページ <http://www.ymkp.net/aozora/>

フェイスブック <http://urx.nu/il6t>



2017年のあおぞら共和国

認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク 青柳耕作

今年もチャリティウォークや草刈りなどたくさんのボランティアの方々に参加していただきました。2014年に第1号ロッジが完成してからお風呂棟を含め5棟が稼働し、1日最大50名が利用できるようになりました。2017年にはじゃぶじゃぶ池やステージ(写真)、Kids Box(キッズハウス-写真)が完成し、広場に子どもたちの笑い声が響くようになりました。2017年9月で宿泊利用者数が3,000名を突破いたしました。多くの方々にご支援いただき、ここまで来ることができました。ありがとうございます。これからもますます多くの方にご利用していただいて、一人でも多くの方の思い出の残る場所にしていきたいと思っております。2018年以降、5・6号棟などまだ建設は続き、維持管理の負担も増えてきます。今後ともご支援ご協力の程をよろしくお願いたします。



上ステージ 下じゃぶじゃぶ池



じゃぶじゃぶ池



キッズハウス



キッズハウス内部

あおぞら共和国の運営—管理人(青柳明美)さんに聞く

取材 甲府一高あおぞら会実行委員 田伏純子

『あおぞら共和国』は、認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク(以下、難病ネット)が建設・運営しています。難病ネットは水道橋に事務所があるNPO法人で、山梨県白州町に約3,000坪の土地の寄贈を受けたことから、障害のある子どもたちの為のキャンプ場…あおぞら共和国…の建設が始まりました。現在は、たくさんの子どもの笑顔で賑わっています。今回は、難病ネットから委託を受けてあおぞら共和国の管理人をされている青柳明美さんに、インタビューしました。青柳さんはあおぞら共和国から5分ほどのところにお住まいで、ご夫婦(青柳明美さん、青柳均さん(甲府一高あおぞら会実行委員-甲府一高51年卒))で宿泊者への鍵の受け渡しや宿泊前後の掃除・備品の管理などをしていらっしゃいます。**利用することもたちに対する感想は?**『以前、障害児教育の仕事に携わっていたので知識はあるつもりでしたが、皆さんの荷物が多いのにはびっくりしました。姿勢を楽にする為のクッションや、きざみ食の為のミキサー、吸引器などを持つての旅行になりますからね。』**印象に残る利用者のエピソードは?**『あしがらキャンプ(注:難病ネット主催のサマーキャンプ)で出会った静岡と埼玉の車イスの女の子同士が、年に何回かショッピングモールで待ち合わせて会っていたそうです。あおぞら共和国が出来たので1泊してゆっくり会えるようになったと喜んで、楽しみにしてくれています。』**見学者に伝えたいことは?**『“気兼ねなく過ごせるということだけでなく、キャンセルすること自体も気兼ねしないで!体調が不安定な子供たちですから。”“他の人に迷惑をかけないで、自分の家のように過ごせて、兄弟もののびのび遊んで、おかあさんが昼寝ができるようなところですよ”ということを是非伝えたいです。』私たちがいつも、チャリティウォーク後の完歩パーティや草刈りボランティアなどでの宿泊の際、青柳さんに大変お世話になっています。その時に感じるお人柄の素晴らしさを改めて感じたインタビューでした。



左青柳明美さん 右青柳均さん (甲府一高あおぞら会実行委員・甲府一高51年卒)

あおぞら共和国利用者の声

あおぞら共和国の利用者は、2017年9月で3,000人を超えました。4棟稼働すると1日に50人宿泊することが可能です。団体の利用も始まり、難病ネットにはうれしい感想がたくさん寄せられていますので、その一部をご紹介します。



SSPE青空の会(亜急性硬化性全脳炎家族の会) 会長 田伏純子

SSPE青空の会(亜急性硬化性全脳炎 家族の会)として2回目のサマーキャンプを『あおぞら共和国』で開催しました。何より“うちっきり”の気兼ねなさはやはり最高です。今までのキャンプでは、一般の公共の宿などを利用していたので、入浴の時に『他の宿泊客がいないか?』が大変気になっていました。特に日帰り温泉を兼ねている宿では、我々が入浴したい15時頃が結構混んでいて肩身の狭い思いをしたものです。あおぞら共和国では、気兼ねなく子どもたちをお風呂に入れることが出来、食事の時間も自分たちのスケジュールに合わせて調整出来て、「改めて素晴らしいキャンプ地だ!」と実感しました。食事を自分たちで作ることに慣れてきて、武川米や平飼卵、美味しい野菜などの地元産の食材を使った食事は参加者に大好評でした。毎年いらして下さる医療関係や、一般のボランティアの方々の他に、地元ボランティアの方々もお手伝いくださり、おかげで素晴らしいキャンプとなりました。

あしがらキャンプの仲間たち

難病ネット主催のがんばれ共和国あしがらキャンプでお友だちになったメンバーと、5月のあおぞらふるさと祭りでの再会。そこで「またあおぞらに泊まりたいね」という話になり、9月に利用させていただきました。昼間はそれぞれ清里にアイスを食べに行ったり、じゃぶじゃぶ池で遊んだり自由に過ごし、食事はひとりのパパが、趣味とは思えない料理を振る舞ってくれ、夜は大人のおしゃべりで盛り上がりました。また、かつてキャンプでボランティア参加してくれてそれはそれは賑やかな集まりとなりました。互いに手が足りないところは助け合い、普段はできない旅行を楽しむことができました。たくさんの家族が集まって泊まれる場所もなかなかなくて、あおぞら共和国があって良かった。今回はお世話になり、本当にありがとうございました。



あすなるの会(ダウン症・家族の会)一会員50人で合宿(2泊3日)

9月に行ったサマーキャンプも、小さい子達はじゃぶじゃぶ池で大はしゃぎし、流しそうめんや、みんなで作ったカレーを食べて、楽しく過ごさせて頂きました。ありがとうございました。今年は、冬の白州もみんなで楽しみたいという事で、冬合宿も企画してみました。できれば全棟貸切でお願いできればと思います。宜しく願いいたします。

神奈川県在住のご家族(8月ご利用)

今回3泊4日で利用させていただきましたが、これまでは外で1泊しか経験したことがなかったですし、自宅から遠い場所で泊まることも、今回は自分たち家族にとっても一つの挑戦でした。結果は、ものすごく充実し、満足した4日間でした。自然に囲まれたロッジで、気持ちの良い朝、大きなヒノキのお風呂、たくさんの虫や動物たち、静かな夜、道の駅巡り、どれをとっても太陽と一緒の貴重な時間でした。呼吸器での移動や医療的ケアも多いので、荷物が必然的に多くなるので泊まりはものすごく大変なのですが、太陽の成長を感じる日々でしたので、また利用させていただこうと考えています。気持ちよく過ごせるようにと心遣い本当にありがとうございました。



あおぞら共和国利用方法

難病や障害のある子どもとご家族・関係者・支援者及び難病ネット会員(正会員・賛助会員・購読会員)が利用できます。利用申込書は、当会のホームページからダウンロードし、必要事項記入の上FAXかE-mail又は郵送でお送りください。利用は最長3泊4日まで。(最後の利用からは30日空けてください) 詳しくは難病ネットのホームページ <http://www.nanbyonet.or.jp>

新緑ウォーク2017

200名以上が参加した12km (JR日野春駅～あおぞら共和国) チャリティウォーキング
甲府一高あおぞら会が主催しました。



集合場所の日野春駅からの駒ヶ岳



受付準備完了。手前は露木会長



出発します。



もうすぐ昼食休憩



水車小屋公園で昼食です。



水車小屋公園で

「あおぞら共和国」支援のためのチャリティウォーキング「新緑ウォーク2017」を4月22日に「甲府一高あおぞら会」主催で開催しました。当日は晴天に恵まれ、甲斐駒ヶ岳山麓の遅い春の美しさに包まれて、JR日野春駅からゴールである「あおぞら共和国」までの12kmのウォーキングを約200名の参加者が楽しみました。ゴールでは完歩パーティが開かれ、ボランティア手作りの美味しい料理が出されました。車イスの参加者へのサポート(助っ人)や、道案内、車での巡回、食事・会場準備など、たくさんのボランティアの方々のご協力で、無事に終了することができました。



ちょうど桜の時期と重なり、春爛漫



途中、古道も歩いて、木々の香りも楽しめます。



パーティ会場の準備です。



露木会長はだいこんおろしの担当です。



この信号を渡り、最後の上り



もう少しでゴールです。



餅つきの用意



つきたての餅をゴールインした皆さんへ



団体参加者提供のバスで小淵沢駅へ



ゴールしたら、寄せ書き



ゴールでのパーティは賑やかでした。

新緑ウォーク 2017 に参加して

■MY様 参加させていただいた学生たちはみな「楽しかった!」と申しておりました。ご家族と一緒に自然の中の長距離を歩く中で、いろいろ感じることも多かったようです。貴重な体験をさせていただきました貴活動に感謝申し上げます。私も昨年度に続き2回目の参加でしたが、かわいい子どもたちと山梨の自然に癒された一日でした。山本様はじめ運営スタッフの皆様にはいろいろとご配慮いただき本当にありがとうございました。

■M様からのご指摘とご提案 ◎「牧原」の交差点に立っていたら、DAIHATSUにお勤め(?)の方が、私たちも関係者かと尋ねて声をかけて来られました。「駅から下ってくる道は、ダンプも多く通るので危ないですよ」と言われました。ご心配くださったのだと思うのですが、車を運転して危険を感じられたのかなとも感じました。◎ 出発のタイミングが分からずずっと受付のところで待っていた人がいました。「出発します」の声は何度か聞いたそうですが、どこかのグループの人に向けて言っているのか、個人での参加者に言っているのかがわからず戸惑ったようでした。

■RA様からのご感想とご提案 今回、高速の事故渋滞で多くの車の人が遅れるという事態を経験しました。車で来る方は、車椅子や小さいお子さん連れの方が多くいますので スタート時間が遅れるとなかなか大変だと感じました。なので、例えば車の方は10時までに日野春駅に着かない場合は 水車公園で同乗者を下ろして合流してもらうなどして事前にその事をお知らせしておいたらどうかなあと思いました。今回は助っ人補助してくれた学生さんたちが着いたら全部終わっていて少し申し訳なく思いました。でもお天気に恵まれたことは、本当に良かったです。

■T様 子ども達も楽しく参加出来ました。今年はゴールまでたどり着くことができ、自信にも繋がったと思います。保護者の方々もとても喜んでくださいました。ありがとうございました。また次回、楽しみにしています。

朝日新聞の記事より

2017年4月23日 朝日新聞 朝刊 山梨版 一部引用

難病の子のため、歩いた笑った 北杜のキャンプ場支援、250人参加 /山梨県

…略…「難病の子らとその保護者が気兼ねなく宿泊できる施設はあまりない。山梨にあることをもっと知ってもらえば、子どもに優しい場所と移住する人もいるだろう」…略…相模原市の山本理恵子さん(44)は、小口さんのクリニックに通うダウン症の長男峰弓(たかゆみ)君(4)と参加した。「温泉で気兼ねなく風呂に入るといのができない。気にしてもしょうがないけど、気にする」ネットワーク会長の小林信秋さん(69)も言った。「この時期、ここを歩くのは本当に気持ちいい」あおぞら会の会長を務める露木和雄さん(66)は「今後、建物が完成しても維持管理が大変。草刈りも必要だろう。会員を増やしてサポートしていきたい」…略…

新緑ウォーク2018の案内と参加申し込み方法

新緑ウォーク2018は4月21日(土)に開催いたします。JR日野春駅から「あおぞら共和国」までの約12kmです。申込み用紙にご記入の上FAXしていただくか、ホームページからお申し込みください。詳細はホームページ: <http://www.ymkp.net/aozora/>

日時 4月21日(土) 小雨決行

集合 JR日野春駅前公園 10時10分

新宿08:00<スーパーあずさ>09:28甲府09:32→09:59日野春

◎お車でお越しの方はゴールのあおぞら共和国に駐車可能です。

あおぞら共和国からスタート地点に送迎いたします。※要事前予約

日程 10時30分出発 JR日野春駅～あおぞら共和国まで

14時頃からあおぞら共和国で完歩祝いパーティ&あおぞら共和国見学

16時頃解散 帰りは小淵沢駅まで乗り合いタクシーを利用していただけます。

(甲府一高あおぞら会の会員はゴール到着後、総会を開催します。)

参加資格どなたでも(非会員の方でも)参加可

あおぞら共和国近くの『みどころ・あじどころ』 その2(毎号連載)



藪内正幸美術館 <https://yabuuchi-art.jp/>

あおぞら共和国角の交差点を直進、わずか300m先に、絵本の挿絵、図鑑の絵を描いた画家藪内正幸氏の作品を展示する、日本で唯一の動物画専門の美術館があります。常設展示はなく、全館企画展示を行っています。年1回の展示替えて全作品を入れ替えています。

開館時間 10:00～17:00 (入館は16:00まで)

休館日 水曜日(祝日の場合は開館) ※8月は無休。冬期休館があります(12月～3月中旬)。



住所: 〒408-0316 山梨県北杜市白州町鳥原2913-71 TEL: 0551-35-0088

認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク(難病ネット)の2017年の行事

難病ネットの機関紙やホームページからの情報です。

◆草刈りボランティア

2017年10月14日～15日の2日間、ボランティアを募り、敷地内の草刈りと木の伐採、薪づくりを行いました。1日目は作業日和の曇り空の中、40名以上の方にご参加いただきました。2日目は、雨にもかかわらず、14名の方にご参加いただきました。ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。



◆サマーキャンプ「がんばれ共和国」

難病ネットでは、毎年全国8ヶ所でサマーキャンプを開催しています。サマーキャンプ『がんばれ共和国』は、難病や障害のある子ども達とその家族を対象として、吸引や経管栄養、酸素の管理等の濃厚な医療的ケアを日常的に必要としている子どもたちでも安心して参加できるキャンプとなっています。このキャンプを支えているのは、医師や看護師たちで構成される医療班であり、子どもたちの心のよき理解者である教育や福祉の専門職たちです。とくに医療班には、地域の医療機関とも連携し「安心と安全」をモットーとしたこのキャンプを長く支えてきていただいています。



◆あおぞらふるさと祭り

2017年5月13日(土)「あおぞら共和国」において、あおぞらふるさと祭りが開催されました。雨にもかかわらず、たくさんの方にお越しいただきました。予定より規模を縮小し、各ロッジの中で出店をしていただき、3号棟ではオカリナ、キーボードなどの演奏が行われました。あおぞらふるさと祭りの中でテーブルセットとじゃぶじゃぶ池の贈呈式を行いました。相模原西ロータリークラブ様から5名、24時間テレビ様から1名、山梨放送様から1名、それぞれお越しいただきました。



◆チャリティウォーク 2017 一秋

2017年10月28日(土)10時、小雨の降る中、JR日野春駅に車いすのお子さんや障害のあるお子さん含め、総勢40名が集まりました。10時15分、日野春駅前の公園を出発し、白州の「あおぞら共和国」までの約12Kmを歩きました。甲斐駒ヶ岳を見上げると、山に霧がかかっている、とても幻想的でした。管理人の青柳さんをはじめ、地元の方々より温かい豚汁とお餅をご用意いただきました。寒い中でのウォークだったので、温かい豚汁はサイコーに美味しかったです。



看護師相川公代さんから多額のご寄付をいただきました

甲府一高あおぞら会実行委員 小口 弘毅(小児科医)



相川さんは、13年前に乳がんとなり手術を受けましたが、再発したため、長く闘病を強いられていました。闘病しながらも前向きに人生を歩み、早稲田大学の大学院に進み学びを続けました。相川さんは、北里大学病院NICUで私と一緒に長く勤務し、多くの小さな命に向き合ってきました。その縁もあり、最晩年の2年間は、私のクリニックで働いてくれました。小児科で幼い子供達と触れ合うことで、生きる力をいただいていると常々語っていました。助産師でもある相川さんは母乳育児相談を受け、優しく母親を励ます姿は慈愛に満ちていました。夢プロジェクトにも深く共感し、チャリティウォークに何度も参加しました。2016年7月にお亡くなりになりましたが、その3ヶ月前のチャリティウォークにも参加してくれました。独身であった相川さんは、ご両親に遺産の一部をあおぞら共和国のために寄付するよう遺言していました。ご両親は遺言に従って300万円を甲府一高あおぞら会に託されました。私たちはご遺志を受け止め、その一部を母子像の木彫製作に使うことに決め、彫刻家の宇賀地洋子さんに依頼し、すでに母子像は彫り始められています。(左の木版画はそのイメージ)あおぞら共和国のロッジに納められますが、きっと多くの家族を癒すと同時に励ますことでしょう。早すぎる死(享年53歳)を悼み、合掌。

1. 収入 = 合計4,963,494円

- (1) 会費 = 942,000円 現在の会員数 318名 (難病ネット会員で会費免除の方4名を含む)
- (2) 参加費 = 209,180円 2017年4月22日に実施しました新緑ウォークの参加費等
- (3) 寄付金 = 3,812,314円 新緑ウォーク、同窓会、東京同窓会での寄付金(募金)、会員の皆様からの個別の寄付金及び故相川公代様ご両親様よりのご寄付

2. 支出 = 合計99,342円

- (1) 経費 = 67,620円 新緑ウォーク行事費用
- (2) 事務費 = 23,302円 支払手数料、通信費、運送費、消耗品費
- (3) 広報費 = 8,420円

3. 支援金 = 4,864,152円 収入より2. 支出を差し引いた金額が
あおぞら共和国への支援金額となります。

● みんなのふるさと“夢”プロジェクト
ご寄付ありがとうございました。

甲府一高あおぞら会「同窓会」	181,973円
甲府一高あおぞら会「東京同窓会」	76,031円
甲府一高あおぞら会「44会夏の会」	30,000円
甲府一高あおぞら会「山梨交流会11月18～19日」	20,000円
甲府一高あおぞら会「故 相川公代様ご両親様より」	3,000,000円

NPO法人難病ネット機関紙「がんばれ!」に記載された
甲府一高あおぞら会からの寄付金明細です。

但し、今年度につきましては、別様に記載しておりますように、「同窓会」「東京同窓会」「44会夏の会」「山梨交流会11月18～19日」「故相川公代様ご両親様より」からの寄付金合計5件、3,308,004円は既に“夢”プロジェクト宛に、個別に振込済ですので、現在の支援可能金額は1,556,148円です。今後、年度末までに、主な支出としては年報の発行配布費用を、見込んでおりますので、年度末のおぞら共和国への支援金額は、1,500,000円程度になるものと予想されます。

◆ 2017年度の寄付合計金額は4,800,000円程度になるものと予想しております。

内、3,000,000円につきましては「故相川公代様ご両親様より」のご寄付分です。

◆ 寄付金は、あおぞら共和国の運営費、光熱費、寝具代等に充当されています。

あおぞら共和国の運営経費について== 現在のあおぞら共和国の年間光熱費は約60万円、寝具代・備品代は約140万円、合計200万円を超えています。甲府一高あおぞら会からの支援金はそれらの運営経費等に充当されております。今後もセンター棟等も建設され、あおぞら共和国の維持・運営は更に増加が見込まれます。これらの支えとなる、会員の皆様からの継続的な支援、ご協力をお願い申し上げます。

◆ 故相川公代様ご両親様よりのご寄付は、母子像の寄贈他に充当される予定です。

◆ 今年度末の会計につきましては、確定次第、甲府一高あおぞら会のホームページにてご報告させていただきます。

会員の更新(会費納入)のお願い

12月31日現在(会計年度は4月1日から翌年3月31日)で、会員数は318名となっております。
年報AOZORAに同封して送られる、ゆうちょ銀行の振込用紙を用いて、ゆうちょ銀行で振り込んでください。
振込料金は不要ですので、会費分3,000円の支払いで済みます。

会費納入先:ゆうちょ銀行 口座名:甲府一高あおぞら会 口座番号 00110-9-323825

その他の振込方法はホームページをご覧ください。 http://ymkp.net/aozora/kaihi_nonyu.html

お願い:甲府一高卒業生の方は通信欄に卒業年度の記載をお願いいたします。



「あおぞら共和国」の支援は各種の方法で http://ymkp.net/aozora/aozora_sien1.html

1. あおぞら共和国の建設・運営母体である認定NPO法人「難病のこども支援全国ネットワーク」の会員となつていただく。

・難病ネットの正会員、賛助会員(B)の方は、甲府一高あおぞら会の会費は免除といたします。

(注:難病ネットの賛助会員(B)の会費は税法上の特定寄付金となりますので免税の対象となります)

2. 随時寄付を個人名で行うことを希望する方は ゆうちょ銀行 加入者名:みんなのふるさと夢プロジェクト

口座番号: 00140-5-472963 に振り込んでください。認定NPO法人ですので、確定申告時、税金控除が受けられます。

振込後NPO法人難病ネットから領収書等必要な書類が送られてきます。

A House Called Helen (Jacqueline Worswick 著) の翻訳出版を目指して

甲府一高あおぞら会実行委員 小口 弘毅

難病ネットの活動の柱である夢プロジェクトが始まった2011年に、私はこの本に出会い、すぐに翻訳出版を思い立ちました。世界で初めて1982年にオックスフォードに誕生したこどもホスピス Helen Houseをご存知ですか？2歳半のヘレンが脳腫瘍を発症し、手術後に植物状態に陥ったことが発端となりました。ヘレンの在宅介護は困難を極め、家族を支えるために、修道女フランシスドミニカはこどもホスピス設立を思い立ち、募金活動を始め、英国全土からの熱狂的支援を受け、わずか2年後にヘレンハウスは誕生しました。Jacqueline(ヘレンの母)はヘレンハウスの物語を2000年に出版しました。ヘレンハウスに漂っている“人間存在の肯定感”は、病気を治すことはできなくとも、支援の方法はたくさんあるというものです。休息介護(レスパイト)を受けるために家族は年に数回ヘレンハウスに滞在し、英気を養うのです。ホスピスは終末期介護を受けるだけの場所ではありません。翻訳出版は間接的に夢プロジェクトの支援につながると考え、4年前に7人の仲間と翻訳を始めました。当時はNHKの朝ドラで“花子とアン”を放映しており、佐々木まち子さんは同郷の村岡花子に憧れ、“小口君、私も村岡花子のように翻訳に取り組みたい”と言って協力してくれました。しかし、翻訳途中で体調を崩し、わずか4ヶ月後に帰らぬ人となってしまいました。まち子さんの想いに応えるためにも、この翻訳出版(今年中)を成功させたいと願っています。著者との手紙のやりとりを一部紹介します。

著者よりの返信：It is good to know the interest in children's hospice care is growing, and I should be happy to think that my book had contributed to understanding of this important subject. I was very interested to hear about your aim to establish respite facilities for children with disabilities and life-shortening conditions in Japan and about the Japanese-style houses you have already built.



甲府一高あおぞら会 実行委員

2017年12月31日現在の甲府一高あおぞら会の実行委員は以下のメンバーです。
(年数は甲府一高卒業年、無印は昭和、Hは平成です。)

実行委員を広く募集しています。山梨在住の方、50歳未満の方大歓迎です。



会長 露木 和雄(45年) 副会長 軽石 泰孝(50年) 事務局 山本 秀彦(41年)
谷口 百合子(36年) 宇野 由美子(40年) 田伏 純子(44年)
雨宮 俊彦(45年) 小口 弘毅(45年) 齋藤 一文(45年) 飯沼 温子(45年)
保延 義仁(50年) 斎木 裕子(50年) 高橋 久(51年) 青柳 均(51年)
岡 亜佐子(59年) 上松 裕之(H3年) 保坂 香子(H3年)

お友達を誘ってください。(新規入会のご案内)

甲府一高同窓生以外の方も歓迎です。

会員の皆様の友人、知人の方に、白州の「あおぞら共和国」とその支援活動を紹介し、甲府一高あおぞら会に誘ってください。加入申し込み用紙に 氏名、甲府一高卒業生の場合は卒業年、紹介者のお名前、住所、電話番号、メールアドレスを記入して、以下の甲府一高あおぞら会までFAX、郵送、メールにてお送りください。甲府一高あおぞら会ホームページの入会者募集ページの詳細説明、申し込み用紙を参照してください。

〒252-0233 神奈川県相模原市中央区鹿沼台1-7-7おぐちこどもクリニック内 甲府一高あおぞら会
FAX:042-786-4132 ホームページ:<http://www.ymkp.net/aozora/> 事務局mail:aozora@ymkp.net

ホームページとフェイスブック

入会のお申し込み以外にも、活動の様子、草刈りボランティアやウォーキングなどの日程や詳細は、ホームページとフェイスブックにてお知らせしています。チェックしていただき、活動にぜひご参加ください。



facebook →
<http://urx.nu/il6t>



←ホームページ